

1108 80TT 1108

七月

號

五

重

軍

烟

次

林

加

南

解酒國境發售問題
自之及之命國
會同權

Vertical text on the right edge of the document, including various stamps and characters.

1108 80TT

七月

五

陸軍省
陸軍部
陸軍省
陸軍部
陸軍省
陸軍部
陸軍省
陸軍部

陸軍次官津野一輔殿
鮮瑞國境警備問題ニ関シ日支兩國間
係者會同ノ情況ニ別冊ノ通シ一部及送
付候也

書類送付ノ件通條

五七

陸軍省
14. 6. 25
件第 8. 時
第 5. 時

陸軍省
14. 7. 11
件第 8. 時
第 5. 時

陸軍省
14. 7. 21
件第 8. 時
第 5. 時

陸軍

1110

鮮滿國境警備問題ニ関シ
日支兩國關係者會同ノ情況

外務省
文書課
部



目次

一 會合ノ端緒

二 一行ノ支那側訪問

三 日支關係者ノ會合

四 所感

一七一頁

一會合ノ端緒

昨大正十三年三月朝鮮總督府警務課長ハ軍參謀長並奉天顧問將校等ノ仲介ニ依リ奉天省警務關係要路ノ諸官ト奉天ニ於テ會合ノ上在滿不逞鮮人取締問題ニ関シ協議ノ結果省長王永江ハ直ニ當方ノ希望條件タル武器取締ニ著手セルモ其ノ實施要領當ヲ得サリシ爲安東領事ノ抗議等ヲ生シ徹底的ニ其ノ目的ヲ達成スルニ至ラスシテ今日ニ及ハリ偶々今回下岡政務總監滿洲視察ヲ機トシ奉天總領事及顧問將校等ノ仲介ニ依リ警務局長ヲシテ更ニ本件ニ関シ支那側ト交渉セシムルコトトナレリ

二一行ノ支那側訪問

政務總監ハ大正十四年五月二十五日夕京城發
 先ツ大連方面ニ直行ノ筈ナリシモ汽車中ニ於
 テ張作霖ノ天津ニ向テ出發時日切迫セルノ情
 況ニ在ルヲ知り急ニ豫定ヲ變更シ二十六日午
 後一時奉天驛下車同日午後三時ヨリ張作霖ヲ
 訪問セリ同日ノ會見ハ總領事及顧問將校等列
 席ノ上單ニ初對面ノ挨拶ニ過キスシテ警備問
 題ニ關シテハ遂ニ觸ルルコトナクシテ終レリ
 三兵警務局長ハ二十六日京城發二十七日奉天
 著二十八日張作霖楊宇霆干珍等ヲ訪問シ初對
 面ノ挨拶ヲ兼テ後日本問題ニ關シ協議スヘク
 再會ヲ約セリ
 爾后總領事及顧問將校等ノ韓旋ニ依リ來ル六

月二日午後彼我警備關係者省長公署ニ於テ會
合懇談スルニ決ス

三日本側ノ打合

六月一日午後日本總領事館ニ於テ日本側一同
會合シ明二日日支會合ノ爲下打合ヲ行フ

主ナル會合者

總督府側

三矢警務局長

國友警務課長

長谷川大尉

生田平北知事

陸軍側

赤井軍參謀長

西山大尉

浦關東軍參謀

三田領事

領事側

船津總領事

西澤安東領事

顧問側

松井少將

町野大佐

特務機關 菊池ヲ將

折合ノ内容（對話的ニ記載ス）

船津

本日ハ明日會合ノ爲豫メ日本側各位ノ意見ヲ
 一致セシメ置キ度ク且ツ支那側ノ明日提案セ
 ント思ハルル事項ニ関シ豫メ研究シ置クヲ可
 ナリト認メ御集リヲ願ヒタル次第ナリ小官カ
 察スルニ越境進入ノ度数増加竝ニ越境進入ニ
 伴ヒ發生セル刑事事件等ハ必ス先ツ先方ヨリ
 提案セラルルコトヲ豫期スルヲ必要ト認ム
 三矢
 抑々今回ノ來訪ハ警備事項ニ関シ交渉セント
 スルカ如キハ本任務ニ非ス只面識ヲ得ルト共ニ

九

一 三問題ヲ懇話セント欲ス

二 國境警備ニ関シ諸問題ノ惹起セル場合ハ

ナルヘク之ヲ地方的ニ解決セシムル等相

五 事件ノ取扱ヲ更ニ簡便ナラシムルコト

六 支那側ノ不逞鮮人取締ニ関シテハ更ニ嚴

重ナラシムコトヲ要求ス

三 支那側ノ不逞鮮人取締ニ際シ不逞者ト良

民ハ明ニ之ヲ區分シ良民ハ十分之ヲ保護

セシムルコト

四 越境進入ハ真ニ情況止ムヲ得サルコトヲ

了解セシム

船津

一 我越境警察官ノ不逞者取締ノ際民刑事件

支那野

ニ関與スルハ不可ナラスヤ如斯ハ支那側
 ヲシテ誤解ヲ生セシムルノ基トナリ取締
 勵行上支障ヲ生セン其ノ實例トシテハ中
 江鎮附近竝最近安東上流ニ惹起セル事件
 等現ニ案懸中ノモノアリ
 ニ朝鮮側ヨリ論スレハ事故ノ發生ハ殊ニ結
 氷期間ニ頻發シ而モ犯人ノ區分ハ明ニ之
 ヲ目撃シ得ルモ支那側ヲシテ言ハシムレ
 ハ結氷期間ハ警察官ノ越境進入ノ頻發ト
 不運者ト良民ノ區別困難ナルノ理由ヲ以
 テ徹底的取締ノ困難ナルコトヲ主張セン

支那側ノ明日會合ニ出席スルモノハ實際業務

ヲ担當セル首腦者ナルモ其ノ考ハ必スシモ張
 作霖及王永江ノ意見ト全然合致セルモノニ非
 ス而モ極端ナル國權恢復論者モ有ルヲ以テ或
 ハ越境進入問題等ハ妥協矣ヲ見出スコトヲ得
 サルヤモ計ラレズ支那側ノ出様ニ依リテハ寧
 口明日ノ會合ハ喧嘩分シヲ希望ス然ラハ小生
 及松井兩顧問ニ於テ張作霖及王者長ニ注意ヲ
 促シ將來解決端緒トナサシ
 船津
 昨年ノ不逞鮮人所有武器沒收問題ハ偏僻ナル
 地方ノモノヲ行フカ當方ノ希望ナリシニ其ノ
 實施ハ寧口及對ノ結果ヲ生シ高埠地及開放地
 ニ於テ行ヒタル為安東領事ノ抗議問題等ヲ惹

起セリ固ヨリ其ノ實施ハ困難ナル業ナルヲ以テ若干ノ矛盾ヲ生セシモ王省長ノ意圖ノ不徹底ニ基因スルニアラスヤ將來之ヲ要望スルトセハ其ノ實施方法ニ相當ノ希望條件ヲ附スルヲ要セシ

所野

高埠地及開放地ニ於ケル武器沒收ハ其ノ後之ヲ取止メ其ノ以外ノ地ニ實施シツツアリ然レトモ目下ニ於ケル實施ハ確實ト認ムルヲ得ス支那側ニ於テ將來取締ノ全責任ヲ負擔スルヲ前提トシ我越境進入ヲ全然拒否スル場合ニ於テハ日本側ニ於テモ一時越境進入ヲ中止シ全然其ノ取締ニ關スル責任ヲ先方ニ負ハシメ將

來其ノ不取締ニ基因スル事故發生ノ場合ハ斷
 然タル處置ニ出テテハ如何
 船津
 不逞者ノ取締ニツキ嚴重ナル要望ヲナストキ
 ハ附屬地開放地以外ノ鮮人居住權問題ニ觸ル
 ルコトアル場合ヲ豫想スルヲ要ス
 生田
 取締ハ交通不便ナル奥地ニ根據ヲ有スル者ニ
 對シ實施スル如ク要望シタシ
 支那側ノ取締方法タルヤ否ノ如キ不逞團ハ自
 國民ヲ害セズシテ反ツテ收益ヲ得ル關係上寧
 口之ヲ保護スル傾向アリ
 三矢

一 居住權問題ニ對シテハ當方ニ於テ決意シ
 示シ先方ノ意ニ委ス
 二 武器取締問題ハ強テ之ヲ要求セズ又拒否
 モセズ其ノ實施方法ハ商埠地開放地等ヲ
 避ケ輿地ニ根據ヲ有スル團體等ニ及ホス
 如ク希望ヲ附ス
 之ヲ爲從前本府ニ於テ調査セル參考資料
 ヲ先方ニ交付ス
 三 民刑事件ハ今後我警察官ヲシテ問題ヲ惹
 起セシメサル如ク注意セシム
 四 越境進入ノ一時中止スルモノ一考察ナラン
 然レトモ其ノ結果ハ豫期ノ如ク支那側取
 締ノ嚴重ヲ期スルヲ得サルコトハ明カナ

- ルヲ以テ先ツ左ノ理由ヲ列擧シ其ノ真ニ
止ムヲ得サルコトヲ力説セシ
一、越境進入ヲ手控セシ場合ト之ヲ繼續セ
ル場合トノ被害ノ増減ハ表示シテ其ノ
實證ヲ示ス
- 二、近時歸順及申告等ノ實績擧リツツアル
ヲ以テ見ルニ現在越境進入動作ヲ繼續
シアルニ基因スルコト多キヲ認めツツ
アリ
- 三、現在狀況上警察官士氣上ノ問題ヨリ論
シテモ忍フヘカヲサレ所ナリ
但シ當方ノ越境進入ト先方ノ馬賊取締
ノ爲ノ鮮地へ越境進入トヲ交換的ニ認

客セントスルコトハ滿洲ニ於ケル附屬
地問題ニ之ヲ及ホスコトアルハ固ヨリ
顧慮ニ置カントス

以上ノ説明ニシテ尚支那側ヲ了解セシムル
ニ至ラス依然越境進入ヲ拒否スルニ於テハ
町野氏ノ意見ノ如ク取締實施ノ具體的方案
ヲ聴取シ先方ニ一任シ一時越境進入動作ヲ
中止セントス

之ヲ要スルニ當方ノ意見ニシテ先方ノ了解ス
ルトコトナラハ問題ノ解決ヲ可成地方的ニ
移ス如クシ然ラサル場合ニ於テハ一時越境進
入ヲ中止シ取締責任ヲ全然支那側ニ負ハシメ
ントス

豫定ノ如ク六月二日午後奉天省長公署ニ於テ
開催ス主ナル參會者左ノ如シ

日本側

前日ニ同シ

支那側

高交渉署長

王奉天省政務廳長

陳憲兵司令

丁省長顧問

關安東知事

高(支)

昨年第一回會合ノ結果ニ基キ支那側ニ於テハ
干鴨江水上警察局長
其他交渉署々員等

直 = 不逞鮮人ノ取締 = 著手セシモ其後相互意
 志ノ疏通上遺憾ノ真ヲ生シ當方 = 於テモ豫期
 ノ如キ成果ヲ擧ケ得サリシ折柄今回西顧問ノ
 紹介 = 依リ再々相會合スルヲ得タルハ西國ノ
 爲真 = 欣喜 = 堪ヘサル所ナリ願クハ双方和親
 協調ノ誠意ヲ以テ懇談的 = 解決セラシムコト
 ヲ希望ス
 折悪ク王省長宿病ノ爲出席不可能 = 付小官ニ
 於テ省長ノ存意ヲ御傳ヘスルノ光榮ヲ有ス
 船津(日)
 本日本會合ノ機ヲ得セシメラシタルコトヲ謝
 ス昨年會合 = 基キ實施セラシツツアル支那側
 ノ不逞鮮人取締上多少ノ行違ヲ生セシハ遺憾

二 堪へサル所ナリ然レトモ爾後著々所期ノ方
 針ニ基キ其ノ取締ヲ實施繼續セラレツツアル
 ヲ感謝ス尚此機會ニ於テ相互ノ實狀ヲ披瀝シ
 双方ノ立場ヲ談合シ以テ誤解ヲ一掃セラレン
 コトヲ切望ス
 三 矢(目)
 今回ノ來奉ハ船津總領事ノ談ノ如ク種々懇談
 的ニ當方ノ事情ヲ披瀝シ以テ中日ノ親善ヲ計
 リ度キカ目的ナリ
 到著以來各方面ニ亘リ好意アル取扱ヲ蒙リ深
 謝ニ堪ヘス
 朝鮮トノ國境問題、在滿朝鮮人ノ馬賊的行爲ニ
 對スル貴國ノ從來ノ取締ニ関シテハ多大ノ感

謝ノ意ヲ表ス

尚本會合ニ於テ双方十分ナル意志ノ疏通ヲ得
テ以テ取締上完全ヲ期スルヲ得ハ幸甚トスル
所ナリ

高(支)

元來鮮人ノ弊國ニ移住セル目的ノ根本ハ生活
上ノ安定ヲ得ンカ爲ナルモノト思惟ス貴國ノ
所謂不逞鮮人ニ於テモ亦然リ之ヲ以テ見ルニ
弊國內ニ於テ貴國ノ言フ不逞ナルモノト然ラ
サルモノトノ區分困難ナルコトヲ賢察ヲ乞フ
但シ以上ノ理由ヲ以テ之カ取締ヲ緩ニシアル
ニアラズ現ニ昨年會合ニ基キ王省長ノ命ニ依
リ地方官ノ實施セル不逞者取締事件ハ六十餘

件 = 及ヘリ
 弊國 = 於テ如此取締上多大ノ努力ヲ拂ヒ武器
 ノ没收ヲナシツツアルニ拘ラズ貴國ノ他方面
 ヨリ走ハ迷惑ナリト申出ラシ當方トテハ非
 常ニ去就ニ迷ヘリ又貴國^{警察官}地方官^{越境}ノ立場ヲシ
 テ益困難ナクシタルニ至ルヘク地方官ノ立場
 ヨリ論セハ現下ニ於ケル取締ハ貴國警察官ノ
 越境進入ノ爲或ハ幾分緩トナリツツアルニ
 ラスヤト思惟セラルル莫キニアラス然レト
 モ省長ノ意志ハ依然取締ヲ嚴重ナラシムルコ
 トニ就キ變化ナキコトヲ表明スルニ憚ラス茲
 ニ於テ弊國地方官ノ立場ヲ顧慮セラシ越境進
 入ハ爾來可成中止セラレンコトヲ切望ス

三 矢(日)

不運鮮人ノ名称ハ固ヨリ貴國ヨリ論セハ其ノ
 當ヲ得サルヲ知ル余ハ現在貴國ニ在ル鮮人ヲ
 左ノ二種類ニ別ツコトヲ得ルモノト思惟ス即
 千

一 貴國內ニ於テ産業ヲ營ムモノニシテ大部
 分ヲ占ム

二 前項以外ノ一部少数者ニシテ産業ヲ營マ
 スシテ常ニ馬賊的不運行動ニ出ツルモノ
 而シテ以上第一ノ多数者ハ其ノ移住ノ來歴古
 ヲ即チ經濟的移民トモ稱スヘク貴國ノ産業開
 發ニ資セシトコロ少ナカラサルヘク之等ノ者
 ニ對シテハ勿論十分ナル保護ヲ與ヘラレシコ

トヲ切望ス他ノ少数者即チ第二ニ屬スルモノ
 ハ種々ノ不平等ハ犯罪等ハ爲鮮内ニ居住スル
 コトヲ得サルモノニシテ中ニハ各地ノ不逞者
 ト連絡シ根柢ヲ貴國ニ置キ貴國ノ取締ヲ受ケ
 ツツ尚依然時々朝鮮側ニ侵入不逞行動ヲ敢ヘ
 テ爲シツツアリテ別表ノ如ク其ノ被害頗ル多
 シ而シテ其ノ組織根柢地莫等當方ニ於テ調査
 セル資料別表ノ如クニ付参照ノ上更ニ嚴重ニ
 ル取締ヲ希望ス
 干警務慶長(支)
 苟長ノ言大局ニ於テ同意ヲ表スルトトモニ不
 逞鮮人ノ行爲ニ對シ配慮セラルルコトハ眞ニ
 同情ニ堪ヘサル所ナリ

貴國ニ進入シ不逞行動ヲ敢テスル鮮人ハ局長
 ノ言ノ如ク罪ヲ犯シ或ハ其ノ他ノ理由ニ依リ
 弊國ニ遁入セムモノニシテ歸スルトコロ貴國
 警察權ノ遂行不十分ニ歸著スルニテアラズヤ
 然レトモ之カ取締ニ関シテハ固ヨリ十分ノ努
 カヲ拂ヒツツアリテ從來之カ爲弊國ニ於テモ
 相當多數ノ損害ヲ蒙リタルコトアルヲ了知セ
 ラレタシ只取締實施ニ方リ頗ル困難ヲ感スル
 コトアリ是他ニアラズ
 貴國警察官ノ我領域ニ越境進入スルコトニシ
 テ殊ニ多クノ場合此等警察官ハ變装シ而モ進
 入後弊國住民ニ對シ殺人放火等ノ慘行ヲ敢テ
 スルモノアリ之カ爲ノ損害亦尠ナカラズシテ

我地方官憲ノ業務執行上多大ノ困難ヲ伴フコ
 トハ勿論双方地方官憲ノ意志疏隔ノ原因トモ
 十リ尚延テハ我地方住民思想惡化ノ動機トモ
 十リ爲ニ現在我地方官憲ノ取締上幾分ノ障害
 トナリツツアルコトハ止ムヲ得サルコトヲ洞
 察セラレシコトヲ望ム殊ニ以上貴國警察官ノ
 行爲ト不逞鮮人ノ行爲トハ之ヲ同一視スルハ
 當ヲ得サルモノト思惟セラルルヲ以テ我良民
 ニ與ヘタル損害ニ對シテハ相當ノ辦法ヲ講セ
 ラレシコトヲ望ム

惟ニ貴國警察官ノ越境進入ハ上述ノ如ク弊
 國ヲシテ益々甚シキ立場ニ陥ラシムルノミナ
 ラズ貴國トシテモ結局何等ノ利益ナキノミナ

ラマ貴國ノ江岸ニ於テ十分十ニ取締ヲ勵行セ
 ラルレハ何等越境ノ必要ナキモノト信ス將來
 モ依然之ヲ繼續セシメラルル場合ハ我警察官
 ニ於テモ人民竝ニ自己保護ノ立場ヨリ益々貴
 國警察官トノ意志疏隔ノ懼レアルヲ諒セラレ
 タシ
 尚不逞鮮人ノ銃器取締ハ今日ニ於テモ依然續
 行シツツアルヲ言明ス
 三矢(目)
 慶長ノ意大體ニ於テ了解セリ本日會合ノ目的
 ハ表向交渉ノ意ニアラヌ交渉問題ハ更々正式
 ノ手續ヲ經ルヲ正當ト思考ス
 止ムヲ得サル越境ノ爲貴國民ニ對シ損害ヲ與

へタルコトハ恐縮ニ堪ヘス如此ハ事實明瞭十
 ラハ固ヨリ速ニ正當ノ辦法ヲ講スルニ努力セ
 シ然レトモ以上ハ真ニ止ムヲ得サル場合偶然
 發生セル事件ニシテ決シテ惡意ニアラサルコ
 トヲ諒セラルベシ
 貴國カ本件ニ関シ辦法速成ヲ要求セラルルニ
 當リ數年前來貴國馬賊其ノ他ノ爲我國ノ受ケ
 タル損害ニ對シ交渉事件今ニ未解決ノ儘放任
 セラレアルコトヲ先ツ顧慮セラレンコトヲ望
 ム然レトモ余ハ如此事項ヲ以テ貴國ノ要求ヲ
 疎外スルニアラス現ニ本年ニ於ケル過失事件
 ハ事實判明セラルヲ以テ領事ヲ經テ交渉中ニ属
 シ一日モ速ニ其ノ解決ヲ急キツツアリ

越境進入ノ際變裝スルコトハ貴意一應御尤モ
 十レモ一ハ制服着用ノ上堂々ト越境スルハ貴
 國ノ體面上如何乎ト思考シ特ニ敬意ヲ拂フノ
 意味ニ於テ又一ハ實際目的達成ノ爲必要上特
 ニ變裝セシムルコトアリ尚本件ニ關シテハ將
 來研究セントス
 又將來越境進入中止ニ關シ御希望アリタルモ
 本件ハ永年ニ亘リ真ニ止ムヲ得サル莫クハ廿
 ヲ了知アリタル又何等貴國ノ主權ヲ侵害セン
 トスルノ意ニアラサルコトヲ了解セラレタシ
 廠長ノ言ノ如ク江岸警備ヲ完全トシテ以テ
 其ノ取締ノ嚴重ヲ期スルハ理屈トシテハ一應
 御尤モ十レモ國境ノ延長數百里而モ山岳重疊

タル地形ニ於テ一連不斷ニ警察官ヲ配置シ全
 然不逞者進入ノ余地ナカラシメントスル如キ
 ハ如何ナル國ト雖モ其ノ實施至難ナルハク寧
 口夢想ニ屬スルニアラスヤ
 貴國ニ根據ヲ有スル彼等ハ冬期ハ意ノ如ク氷
 上ヲ通過シ弊國ニ侵入損害ヲ與ヘタル後直ニ
 貴國內ニ遁入ス而シテ解氷後ハ當方ニ進入後
 山中ニ入り時々附近ニ出没シタル後再ヒ貴國
 内ニ遁入スルヲ常トス本年ニ入りテモ已ニ數
 件ノ被害アリ現ニ一週間前ニ警察官駐在所及
 面事務所ヲ襲撃セラレタル事實アリ
 以上ノ如キ不逞者ノ行動ニ對シテハ警察官ハ
 任務上ハ勿論自己生命ノ保安上攻勢動作ニ出

ツルハ理ノ當然ニアラヤ殊ニ對岸貴國內最近
 距離ニ於テ將ニ越境進入シテ我官憲等ヲ襲撃
 セントスル不逞者ノ存在ヲ偵知シタル場合ノ
 如キ徒ニ袖手シテ彼等ノ襲撃ヲ俟ツカ如キハ
 眞ニ我警察官ノ立場トシテ爲シ得サルコト十
 ルヘク而モ自衛上及用兵上ヨリ論スルモ至當
 ノ處置ニアラスヤ從來我警察官ニ對シ越境進
 入ヲ中止セシメタルコトアルモ彼等ハ自己其
 ノ者ノ立場ヨリ全然越境動作ヲ中止スルコト
 ヲ得サリキ事情眞ニ如ク止ムヲ得サルコ
 トヲ再考セラレタシ

銃器取締ハ前言ノ通別表ヲ參考トシ不逞者團
 體ヲ主トシ之レカ爲良民ヲシテ苦マシムルコ

トナキ様切望ニ堪ヘス本件果シテ當方ノ希望
ノ如ク實施可能ナリヤ否ヤ
干警務處長(支)

越境ノ結果ハ貴國側ニ對シテハ或ハ良好ニ報

告セラシアラシモ其ノ事實ハ良民ヲ害シ前述

ノ如ク双方ノ爲何等ノ利益ヲ認メス變裝ハ固

ヨリ如何ナル場合ト雖モ之レカ實施ハ爾今取

止メラシタシ將來尚之ヲ繼續セラルルニ於テ

ハ弊國警察官トノ間ニ於テ萬一故障ヲ發生ス

ル懼アル場合ヲ豫メ了知シ置カレタシ

不逞者ノ武器取締ハ貴意ノ如ク實施ニツツ

リ然レトモ該武器ノ彼等ノ入手ニ至ル迄ノ經

路ニツキ考慮セラレタシ即チ此等ハ弊國ニ於

テ販賣スル品ニアラスシテ貴國人ニ依リ供給
セテシシモノ多キカ如ク現ニ交渉中ニ屬スル
モノアルニアラスマテ須ク其ノ經過ノ主部分々
ル交通機関至便ナル貴國側ニ於テ彼等ニ入手
前取締勵行ヲ必要トスルニアラスマテ

三矢(日)

余ハ誠意ヲ以テ懇談シアリ然ルニ貴國側ノ誠
意アル了解ヲ得サルヲ頗ル遺憾トスルトコロ
ナリ干慮長ノ言タル我警察官ノ越境進入ハ朝
鮮側ニ何等ノ利ナシトコトハ其ノ當ラサル
ノ甚タシキヲ知ル現ニ別表ノ如ク我警察官ノ
越境進入ヲ中止シタル場合及之ヲ繼續シアル
場合不逞鮮人ニヨリ蒙ル被害數ノ差ノ甚タシ

キニ著意セラレタシ
銃器取締問題ニ関シテハ貴説一應御尤ナリト
雖モ現在彼等ハ従前良民ヨリ没収シツツアリ
シ資金ヲ得ルニ頗ル困難シツツアル状態ナル
ヲ以テ現有武器ノ没収ハ再々彼等ヲシテ其ノ
補充ニ困難ヲ感セシムルヲ以テ先ツ現有武器
ヲ没収スルコトヲ以テ最も有効ナル手段ナリ
ト思料ス

高(五)

表示ニ依リ弊國ニ現存スル不逞鮮人ノ情態ハ
明瞭ニ了解シ得タリ當方ニ於テハ之ヲ參考ト
シ將來誠意其ノ取締ニ任スルヲ以テ貴國警察
官ノ越境進入ハ干慮長ノ意見ノ如ク以後取止

メラレ鮮地ニ於テ十分ナル取締ヲ實施セラレ
ンコトヲ切望ス
尚不逞鮮人問題ハ之ヲ究極セハ附屬地開放
地外ニ在ル一般在滿鮮人ノ居住權問題ニ觸ル
ルニ至ル懼レアリ

關安東知事支

本日ノ會談ハ事凡テ東邊道ニ關スル件ナリ余
ハ如此案件ハ双方直接關係者ニ於テ懇談セハ
了解セラレルモノト思料ス將來ハ道尹領事其
ノ他地方關係者ノ意志疏通ニ依リ不詳事件ノ
再發ヲ防カンコトヲ期シタシ

生田(旦)

貴國側ノ言概ニ總論的ニシテ何等問題ノ中心

ニ觸レ得サルヲ遺憾トス余ハ双方各々ノ立場
ヲ考慮シ何等カ解決ノ曙光ヲ認ムルコトニ努
メタシ貴國側ニテハ貴國內ニ就テハ取締リノ
法ヲ立テス唯我越境進撃ノミヲ排除セントス
ルノミ如此状態ヲ繼續スル場合ハ益々意志疏
隔ノ原因トナリ相互不利益ナラスヤ

船津(自)

本日ノ會合ハ討議ヲ目的トスルニアラズ貴國
ノ所論抽象的ナルニ比シ日本側ハ逐一實証ヲ
舉ケ言フ所ニ誠意ヲ以テセルニアラズヤ余ハ
如此状態ニテハ結局水懸論トナリテ終ルヲ懼
ル
武器取締ノ根本ヲ要求セラレタルモ其ノ供給

一、經路ハ全然日本人ノミノ責任ニアラサルコ
 トヲ考慮セラレタシ要スルニ三矢局長ノ言ノ
 如ク先ツ現存セルモノヲ沒收スルカ第一策ニ
 アラスヤ又越境中止ヲ拒否セラルル爲貴國ニ
 於ケル不逞鮮人取締ノ具體的辦法アリヤ尙武
 器取締ノ實際的方法ヲ承知ミタシ
 高(五)

不逞鮮人取締ノ實際トシテハ貴國ニ於テ偵知
 セラレタル情報ノ移牒ヲ受ケ之ニ基キ弊國警
 察官憲ニ於テ實行シ其ハ捕獲物件等ヲ貴國ニ
 交付スルモ一法案ナラズ
 三矢(四)

越境進入ハ國ヨリ貴國ノ至嚴ナル取締ニ依頼

シ敢テ當方トシテ望ム所ニアラス然ルトモ其
ノ止ムヲ得サル真情前述ノ如シ
余ハ議論ヲ聞カント欲セス總領事ノ言ノ如ク
貴國ノ取締ニ関スル實際的腹案ヲ承リタシ
干支)

取締ノ方法ハ從前ノ辦法ヲ更ニ一歩進メ嚴密
ナル案ト爲シタキ希望ヲ有スルモ今日直ニ發
表スルコトハ固ヨリ困難ナリ

町野(日顧問)

本會合ノ繼續ノ意味ニテ双方ヨリ直接關係者
ヲ二三出シ具體的辦法ヲ講セシメテハ如何
三矢(日)
異存ナシ

高(支)

王省長ノ認可ヲ得テ實施セシム

了

之ヲ要スルニ當日ノ會合ハ何等具體的解決ノ
 方法ヲ見出スコトヲ得サリシト雖モ相互十分
 二自己ノ意ノ存スル所ヲ披瀝シ意志ノ疏通ヲ
 得タルコトハ確實ニシテ而モ朝鮮側ニ於テ希
 望セル通り本會合ニ引繼キ双方直接關係者ニ
 於テ更ニ協議ヲ進ムルニ至レルハ概不豫期ノ
 目的ヲ達セルモノト認ム

四、所感

一、警備関係首脳者ノ現状

視察ノ必要ニツキ

今回會合ノ際彼我論争ノ中心トナリテ妥協困難ナリシ越境進入問題ニ於テ朝鮮側ノ逐一實證ヲ擧ケ説示スル所極メテ具體的ナリシニ拘ラス支那側ノ所論全ク抽象的ニシテ而モ總合論ナリシハ固ヨリ他ニ國家ノ體面維持及從前ヨリ抱持シアリシ感情問題等ハ關係モアリシト雖モ奉天側首脳者カ地方官憲ヨリスル報告ヲ鵜呑ニシ警備ノ實狀ヲ全然知得セサルニ起因スルニアラサルカ

抑モ曰支何レニ於テモ自己ノ系統ニ屬スル報

告 = 信頼スルコトハ固ヨリ常徑ナリト雖モ支
 那側官吏上下密接ノ度ハ到底我國ノ如キモノ
 = アラス加フルニ一般官吏殊ニ下級官吏ノ職
 責觀念及學識ノ低下シアル關係上彼等上司ニ
 提出スヘキ報告ハ全然自己保身政策ニ基ク偏
 見的記事ニ過キサルコトハ察スルニ難ラス
 而シテ又一面上司ノ官吏ハ我國ノ如ク時々地
 方ヲ巡視シ國境警備ノ如キ其ノ實情ヲ實視知
 得シアルニアラズ如此全然現狀ニ暗ク而モ下
 僚ノ報告ニ誤ラレタル首腦者ヲシテ真清ヲ了
 解セシメントスルコトハ實ニ多大ノ努力ヲ要
 スルヤ勿論ナリ
 彼我警備關係者相互意志ノ徹底ハ中央部ハ固

ヨリ該機關ノ末端ニ及ホササレハ其ノ效果ナ
 キハ勿論ナリトス支那一般官吏ノ現情ハ單ニ
 中央部ノミノ連絡ヲ以テ直ニ下級官衙ニ迄其
 ノ意圖ノ徹底ヲ期待スルコトハ過望ノコトニ
 シテ其ノ徹底ノ可成速ナランコトヲ欲セハ各
 階級毎ニ部分的連絡ヲ行フヲ要ス今回ノ會合
 及近キ將來行ハレントスル一部地方首腦者ノ
 會合ニ依リ先ツ中等階級以上ノ意志疏通ノ目
 的ハ之ヲ達成シ得ヘシト雖モ江岸ニ散在セル
 下級官憲ノ疏通ニ関シテハ何等ノ方策ヲ講
 ズルニアラサレハ今日得タル努力ノ效果ハ容
 易ニ擧ゲ得サルニアラサルカ積年種々ノ事件
 ノ爲事毎ニ彼我感情ノ行違等ヲ生シ爲ニ奉天

首腦者ヲシテ現在ノ如キ感情ヲ拘カシメタル
 根源即チ下級官憲ヲシテ好意的ニ了解セシム
 ルコトハ前述ノ如ク單ニ中等階級以上ノ意志
 疏通ノミニ期待スルハ其ノ效果極メテ薄弱十
 ルヲ信ス
 茲ニ於テ曰支警備關係首腦者（日本側ハ警務
 局長、知事、警察部長、支那側ハ奉天省警務處長、道
 尹、鴨江水、上警察局長等ノ如シ）同行シ國境地
 方彼我警備官憲ノ所在地ヲ彼此江岸ヲ縫行シ
 以テ此等首腦者ノ握手セル情態ヲ目撃セシメ
 下級官憲ニ其ノ範ヲ示スト共ニ下級官憲相互
 意志疏通ノ機會ヲ得セシムルヲ有利ナル一案
 ト信ス

在奉有識者ノ越境問題ニ就テ
 懷セル方針ヲ推察セル談ニ曰ク
 張作霖トシテハ中央政界ニ或ハ對露問題ニ頭
 腦ヲ費スコト多ク其ノ經綸ヤ頗ル大ナリ故ニ
 單ニ朝鮮トノ間ニ於ケル越境進入問題ノ如キ
 ハ彼ノ爲極メテ微々タル事件ニ過キス
 王永江トシテハ自己現在ニ於ケル立場ヨリ固
 ヲリ其ノ欲ヤサルコトナルハ推察シ得ヘシト
 雖モ接壤國タル朝鮮トノ親善關係並ニ彼我國
 力充實ノ差異自國警備官憲ノ取締不十分等ノ
 關係上某程度ノ越境ハ止ムヲ得サル歸結トナ
 シアルハキモ干珍等ニ至リテハ自己ノ立場並

ニ所謂主權^維持論者十^レ等ノ關係上全然之ヲ拒
否スルハ當然ナリ

支那一般官吏ノ現情ヨリ推シテ前言ノ真ナル
ヲ疑ハス而シテ朝鮮國境警備ノ現情ニ於テ越
境進入ノ絶對必要ヲ前提トセハ其ノ實施ハ左
記ノ如ク行フモ一案ナランカ

一實施期間ヲ豫メ通告シ置キ實施時期ハ當

方隨意之ヲ決行ス但シ實施期間外警備ノ

方法ハ左ニ附記スル所ニ依ル

前言ノ如ク越境進入ハ干珍等ノ爲ニハ自
己ノ立場ヨリ容易ニ認容セサルハ又邊
境支那官憲ニ於テモ自己保身政策上表面
上之ヲ拒否スルハ當然ナリトス

茲ニ於テ先ツ前項記載ノ如ク之等ノ輩ヲ
現場ニ誘導其ノ實況ヲ視察セシメ以テ我
警察官ノ立場ヲ目撃セシメタル後左記要
領ニ依リ實施ス

一、概ネ結氷期間ヲ限リ隨時越境進入ヲ爲ス
旨豫メ通告ス

本越境ノ範圍ハ主トシテ警察自己ノ立場
ヨリ論スル自衛上ノ手段ナルヲ以テ進入
範圍ハ固ヨリ小極限ニ實施セラルルヲ並
通トシ越境後ノ行動時間モ自然短縮セラ
ルルニ至ルヘシ

二、結氷期間外ハ全然取締ノ責任ヲ支那側ニ
負ハシメ前項ノ如キ越境動作ハ行ハス此

際支那側不取締ノ爲不詳事件ヲ生スルニ
至ラハ其ノ結果ハ比較的大規模ノ越境ヲ
自主的ニ實施ス

本越境ハ廣義ニ屬スル自衛上ノ越境ニシ
テ其ノ兵力行動範圍モ從ツテ前項ニ比シ
廣大ニシテ目的ハ不逞者ノ根據ヲ剽討ス
ルニアリ即チ右ノ如クセハ先ツ干珍輩以
下ノ面目ヲ立ツルト共ニ支那側ヲシテ自
取締上更ニ至嚴ナラシムルコトヲ得ヘク而
モ不逞者ニ對スル宣傳ノ效果ヲモ併セ得
ヘシト信ス

三、會合ノ結果利用ニ就テ
本會合ノ結果ハ直ニ之ヲ利用スル如クス

ルヲ要ス蓋シ對支交渉ノ要領ハ所謂現金
 取引主義ヲ以テ行フニアラサルハ如何ニ
 同一事件ヲ交渉スル場合ニ於テモ其ノ有
 效期間極メテ短少ナルヲ以テ再三再四之
 ヲ反覆スルニ過キサル状態ニ終ルヲ常ト
 ス
 故ニ地方委員會ノ如キモノニ解決ヲ委セ
 シトスルモ可成速ニ之ヲ實施シ且本會ニ
 繼續的ノ意義ヲ失ハレサルヲ必要トス